

平成31年度  
(2019年度)

事業計画書

平成31年 4月 1日から

平成32年(2020年) 3月31日まで

公益財団法人筑紫野市文化振興財団

## 平成31年度（2019年度）公益財団法人筑紫野市文化振興財団事業計画書

### I. 基本方針

公益財団法人筑紫野市文化振興財団は、定款に「文化施設の管理運営を効率的かつ円滑に行い、市民の文化的生活の向上及び地域文化の振興に寄与すること」を目的に掲げ、その実現に向けて取り組んでいる。

そこで、定款及び筑紫野市文化会館の管理に関する基本協定書に定めるところの文化芸術の振興に関する事業を実施する。

特に、筑紫野市より指定管理者の指定を受けて3期4年目（平成28～32年度）となる平成31年度（2019年度）は、筑紫野市文化会館が開館35周年を迎えるため、周年事業を開催する。

また、財団の運営にあたっては、将来にわたって継続的に公益財団法人としての使命を果たすため、人材育成の強化を図っていく。

#### 定款に定める事業（第4条関係）

1. 市民の文化・芸術の振興に関する事業
2. 文化の拠点となる施設の整備及び管理運営に関する事業
3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### II. 事業内容

#### 1. 市民の文化・芸術の振興に関する事業（定款第4条第1項第1号関係）

##### ①公演事業の実施について

定款に則り、市民の文化的生活の向上及び地域文化の振興に寄与する事業等を行う。

#### 平成31年度（2019年度）のテーマ

『 “輪×和” ～アートする心が動きだす～ 』

- (1) 本市に縁のある個人、団体とともに、開館35周年記念と位置づけた7事業を行う。

当会館の事業展開の特徴である「市民協働」「市民参加」による35周年記

念事業をとおして、鑑賞する楽しさや表現する喜び、感動する心と出会える事業を行う。これらの事業をとおして豊かな情感が生まれ、日々の生活に潤いと活力を生み、引いては次代を担う子どもたちやその保護者が、多彩な芸術文化に触れ、文化を媒体として家族や人と人、地域がつながり支え合うことで地域コミュニティを担う次世代の育成に寄与する。

(2) 開館35周年特別記念事業「スローライフ ～まつり筑紫野 星あそび～」を行う。

幼児から高齢者までの幅広い世代、障がいのあるなしに関わらず、文化芸術活動による個性の発現や人間の持つ無限の可能性を市民にアピールするとともに、この事業をとおして、開館35周年を市民とともに祝う。“星”をテーマにした“みる”“きく”“体験する”の多様なイベントをとおして、これまで様々な市民や団体とともに手をつないできた“文化の輪”の更なる広がりや個々の内にある“アートする心”を動かし、新たな文化の風を感じてもらおう機会を提供する。

今年度開催する開館35周年記念事業を含む全17事業をとおして、人と人の輪、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた輪。そして、和みの和、平和の和をイメージし、二つの“わ”を掛け合わせることで更なる文化の広がりや次世代への継承を目指す事業を実施する。

②定期情報誌の発行及びホームページの運営

当財団の活動、事業の広報・周知をするため情報誌「トピック」を隔月刊で43,000部発行し、市内全世帯に無料配布するとともに市内各施設（図書館、生涯学習センター及び各コミュニティセンターなど）にも送付する。

また、ホームページで施設の紹介や利用案内、催し物案内などを行い、市民への周知と利用者の増加に努める。

2. 文化の拠点となる施設の整備及び管理運営に関する事業（定款第4条第1項第2号関係）

### ①筑紫野市文化会館の管理運営について

#### (1) 施設の使用の許可及び使用料の収受に関すること

筑紫野市文化会館の利用承認等業務及び使用料の収納業務を的確に行うとともに、利用率向上のため、利用者には適切・積極的なサービスに努める。

また、施設の貸与については、条例に基づき公益目的で利用する場合は優先的に貸与する。

#### (2) 施設及び附属設備の維持管理に関すること

利用者や入館者が安全で安心して快適に利用できるよう、施設全般の適正な維持管理に努める。

#### (3) 災害等に備えて防火避難訓練等の実施

災害等に備えて、消防用設備保守点検及び防火避難訓練を行う。

### 3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1号第3項関係）

#### ①文化施設の貸与事業

公益目的以外でも施設使用の要望があるため、条例に基づき物販利用などは利用料を4倍に設定するなど、公益目的と差を付けて施設貸与を行う。

#### ②物品販売等に関する事業

施設利用者等が物品販売等を行う際に、販売手数料を徴収する。

### 4. その他

財団職員の知識、技術の向上を図るため、講座、説明会及び研修会に参加し、研鑽に努める。

## 別 表

## 平成31年度（2019年度）（開館35周年）公演事業月別年間事業計画表

（定款第4条第1項第1号関係）

月	事業名	事業種別	会場	概要	企画番号
31年 5、 10	あなたもピアニスト！	その他	大・多目的ホール	グランドピアノの弾き込みの為、コンクール等の出演をめざす人を対象に練習機会を提供。	6
5	〔開館35周年特別記念公演〕 音楽の楽しみ方講座スペシャルライブ 野田愛子♥悠子 &イグナツ・リシェツキ コンサート	鑑賞型	大ホール	演奏とその楽曲にまつわる話を解説する場を提供し、より多面的に楽曲を味わうことでクラシック音楽の次世代への継承をめざす。	14
6	〔開館35周年記念公演/共催事業〕 宗次郎オカリナコンサート ～昔むかしの物語を聴かせてよ～	鑑賞型	大ホール	旬オフセンターと共催。 陶製の笛・オカリナの第一人者である宗次郎によるコンサート	7
7	〈文化活動アウトリーチ事業〉 第十四回ちくしの寄席 学校 DE 落語会	鑑賞型	小・中学校	本市出身のプロ落語家による学校公演。 日本の伝統芸能の継承をめざす。	3
	〔開館35周年記念公演〕 第十五回ちくしの寄席 立川生志 “ふるさと応援” 落語会	鑑賞型	さんあいホール	本市出身のプロ落語家・立川生志と立川志の太郎による日本の伝統芸能・話芸を披露。	4
9	ちくしのミュージックフェスタ with DA・N・KA・I Vol.3	参加創造型	大ホール	実行委員会と共催。“団塊世代”の楽曲を演奏する世代を越えたグループによる発表と交流。	10
	〔開館35周年特別記念事業〕 スローライフ～まつり筑紫野 星あそび～	鑑賞型 参加創造型 育成支援型	全館	“星”がテーマの文化活動イベント。市民協働で“みる”“きく”“体験する”まつりの開催。	8
	海上自衛隊佐世保音楽隊 ふれあいコンサート in 筑紫野	鑑賞型	大ホール	18年度より陸・海・空の音楽隊を招聘。	2
10	〔開館35周年記念公演〕 生涯学習フェスティバル関連事業 第15回ハーモニーフェスタ in ちくしの	参加創造型	大ホール	幼児から高齢者までの市内の合唱グループとゲストによる発表と交流。	9
11	〔開館35周年記念公演〕 森山良子コンサート（仮称）	鑑賞型	大ホール	シンガーソングライター・森山良子によるコンサート。	5
12	〔開館35周年記念公演〕 第34回名曲コンサート	鑑賞型	大ホール	九州交響楽団員を中心としたアンサンブル福岡による、年末恒例のクラシックコンサート。	1
2年 2、 3	2020年・第35回記念名曲コンサートに向けての第九「第4楽章」合唱練習	参加創造型	大・多目的ホール	第35回記念名曲コンサート（2020年6月開催予定）で演奏する第九「第4楽章」の合唱練習。	16
3	ちくしのプラスフェスタ Vol.4	育成支援型	大ホール	市内中学校、高等学校、社会人の9団体による吹奏楽団の発表と交流。「メセナちくしの“吹奏楽祭”」継承事業。	11
	夢野久作と杉山三代研究会 第8回研究大会	教養講座型	未定	23年度に開催した文化塾「杉山家3代と筑紫野」の継承事業。	12
通年	文化活動団体支援事業	育成支援型	—	筑紫野市ちくしの少年少女合唱団、筑紫野市文化協会、(特)ちくしの子ども劇場、筑紫野市吹奏楽団、ちくしの混声合唱団の活動を支援する。	13
	文化活動ボランティア育成事業 サポーターズバンク	育成支援型	—	公演事業の運営等を支援する人材の育成。	17
未定	平田オリザ講演会 「コミュニケーション能力を育み、合意形成能力を高める表現活動（仮称）」	教養講座型	大ホール	ふくおか教育を考える会協議会と市教育委員会の共催で取り組む。教職員、教育関係者、文化施設職員等を対象とした平田オリザ氏による講演会。	15